

# 全国地域づくり人財塾(自治大学校)

地域活性化のためには、様々な知識・経験を持った人が、その知識・経験とアイデアを活かしながら、それぞれの活動に取り組み、地域で様々な活動が展開されることが大切です。

総務省では、地域づくり活動を自らの手で企画し、実践できる人材、すなわち「地域づくり人」を育成するために「地域づくり人財塾」を開催し、これまで多数の修了生が地域で活躍されています。

本研修は、地域に戻り、取り組んでいる地域活動について、発表する場を設け、他の修了生とそれぞれの活動状況の共有を行うことで、修了生の地域活動におけるモチベーションの向上、地域活動を進める中で抱える課題について、講師や参加者同士の熱い議論を交わすことにより、解決するきっかけとなる場となることを目指しています。

修了生をはじめとして、これまで人財塾に参加していない方にも参加可能な内容となっています。

熱い志を持った全国からの参加者とのネットワークを築きたい方、自らの地域活動を発信したい方、事例発表から良い刺激を受けたい方、地域づくりに実績がある豪華な講師陣からのアドバイスを受けたい方、是非ご参加ください。

開催日

2022年11月8日(火)から11日(金)

※宿泊を希望される方は自治大学校寄宿舍を利用することができます。

開催  
日程

11/8(火) (1日目)	12:30~12:45	開講・オリエンテーション
	12:45~15:35	講義(導入・総論・理論)
	15:50~17:00	講師との直接対話1
	17:30~18:30	情報交換会
11/9(水) (2日目)	9:25~12:00	事例紹介1
	13:00~14:10	講師との直接対話2
	14:25~15:35	グループ・トーク1
	15:50~17:00	フィールドワーク・オリエンテーション等
11/10(木) (3日目)	9:25~10:35	事例紹介2
	10:50~11:20	グループ・トーク2
	11:35~18:15	フィールドワーク(東京都多摩市)
11/11(金) (4日目)	9:25~10:35	グループ・トーク3
	10:50~12:00	成果発表・振り返り
	12:00~12:15	閉講

対象

地域づくりに従事する行政職員・地域おこし協力隊員 等

※全課目を受講いただける方(途中参加・退席は不可)

定員

54名

申込期限

令和4年10月21日(金)17時

受講料

無料

1日目の情報交換会参加費が別途必要です。

自治大学校寄宿舍の利用にかかる費用の負担が必要です。(3泊4日8,700円)

研修期間中の食事については、各自ご用意ください。

会場

総務省自治大学校(東京都立川市緑町10-1)

【アクセス】JR東京駅から中央線快速で立川駅まで約55分

多摩モノレール立川北駅から高松駅下車 徒歩約6分

## ■11月8日(火)

11:30-12:30 受付

12:30-12:45 【開講・オリエンテーション】

12:45-13:00 【導入講義】

『人材力の活性化について』 地域の人材力向上の必要性和総務省のこれまでの取り組み、参加者への期待についてお話しします。

総務省地域力創造グループ人材力活性化・連携交流室

13:00-14:10 【講義1】

『プラスワンでつなぐ・支える・掘り起こす』 ～1人複役とフリーランスの流儀～

東京都立大学 法学部 教授 大杉 覚 氏



東京大学大学院総合文化研究科博士課程修了、博士(学術)。成城大学専任講師、東京都立大学法学部助教授を経て、現職。総務省地域づくり人材の養成に関する調査研究会座長、総務省人材育成等専門家派遣事業アドバイザー、全国知事会地方自治先進政策センター頭脳センター専門委員、吉川市総合戦略審議会会長、住田町総合計画推進委員会委員長、多摩市第7・8期自治推進委員会会長、朝来市自治基本条例審議会会長、世田谷区参与(せたがや自治政策研究所所長)、その他、国・自治体関係の委員等を多数歴任。著書に、『これからの地方自治の教科書改訂版』(共著)第一法規、『コミュニティ自治の未来図』(単著)ぎょうせい。

14:25-15:35 【講義2】

『人口減少時代の地域づくりと支援者の役割』 ～エンパワーメント支援への変革～

高崎経済大学地域政策学部 教授 櫻井 常矢 氏



専門は社会教育学・地域づくり。博士(教育学)。高崎経済大学大学院地域政策研究科長。地域づくりのプロセスに住民主体の調査・学習やワークショップ、自治会・NPO・公民館等の事業活動を介在させたモデル事業を全国各地で展開。ひとづくりを軸とした地域運営組織の形成や市民協働によるまちづくりに実践的にアプローチするなど、市町村自治体を中心に政策アドバイザー等を務める。現在、総務省地域力創造アドバイザー、総務省地域運営組織の形成及び持続的な運営に関する研究会委員、福山市持続可能な地域コミュニティの形成に関する政策アドバイザー、西条市地域づくり政策担当参事、大崎市政策アドバイザー(地域自治組織・市民協働担当)等を務める。

15:50-17:00 【講師との直接対話1】

グループに分かれて、講義いただいた講師と直接対話します。講義の関心事項の深掘りや、地域に課題解決に向けた相談など、様々な講師と話し合ってください。

17:30～18:30 【情報交換会】

受講生同士の相互理解を深める機会です。ぜひ様々な地域の方々と知り合い、地域課題の解決手法に関する知見を深め、そしてネットワークの形成を図ってください。

## ■11月9日(水)

### 9:25-10:35【実践事例1】

『弱さが怖さにならない関係性がまちを豊かにする』～12年間続く、若者が運営する観光案内所～  
(一社)サステナブルコミュニティ共創機構 代表理事 横山泰治 氏



1999年に東京都調布市でNPO法人設立。2001年に調布市観光協会事務局として、観光案内所設立や広報・ホームページ開設・運営を担当し、2002年から同市花火大会事務局を兼任、2004年の大河ドラマ「新選組！」まちおこし実行委員会の事務局も担当。その後も市民と行政の協働事業を進め、ITを活用した地域情報化や青少年健全育成・若年者就労支援のNPOで役員として活動。2010年のNHK連続テレビ小説「ゲゲゲの女房」放映を機に、市内の若年者就労支援の一環として、市内の高校・大学生世代による観光案内所「ぬくもりステーション」の運営を開始し12年間継続中。現在は「調布市参加と協働のまちづくりアドバイザー」として調布市基本構想策定への次世代の参加促進などを支援しつつ、SDGsを軸として、官民連携共創、SDGs推進のコーチ、講師、ファシリテーターとして全国で年間200回以上の登壇。

### 10:50-12:00【実践事例2】

『地域共感コミュニティビジネスの作り方』～循環社会の形成から地域でまだまだ活躍できる人と場づくり～  
学生服リユースshopさくらや創業者、馬場 加奈子 氏



12年前にはなかった学生服リユースの市場が年間3.3億円市場まで育つ。捨てられるはずだった学生服198トンの削減につながりさくらやパートナー店舗は90店舗超え。ワンオペ育児の最中、子どもの学生服購入にも窮し、全国初の学生服リユースショップを起業。営業時間は週4日制の5時間と短く子育て優先の働き方を実現。高齢者と障害者の働き方や子ども食堂など地域支援活動にも取り組むなど地域共感コミュニティビジネスの確立し内閣府「子どもの未来応援国民運動」に参画。自治体、企業、学校に学生服回収ボックス800か所以上に設置。「入学準備で学生服が買えない障害をなくし地域の大人たちが地域の子供たちを見守れる社会に」持続可能な循環社会を目指す。  
・日本商工会議所「女性起業家大賞2014」スタートアップ部門 ・日経ウーマンオブザイヤー2016子育て家庭応援ビジネス賞 ・かがわ21世紀賞 ・循環型社会形成推進功労者2017 環境大臣賞 ・日本商工会議所「女性起業家大賞2018」グロース部門 ・内閣府男女共同参画局女性のチャレンジ賞 ・2020 かがわSDGsアワード優秀賞 他

### 13:00-14:10 【講師との直接対話2】

グループに分かれて、講義いただいた講師と直接対話します。講義の関心事項の深掘りや、地域に課題解決に向けた相談など、様々な講師と話し合ってください。

### 14:25-15:35【グループトーク1】

グループに分かれて、テーマに沿った討議をしていただきます。討議の成果は最終日の「成果発表・振り返り」の場で発表していただきます。

#### 【討議テーマ】 今後の期待される『地域づくり人材』とは？

少子高齢化、SDGsの推進、激甚化する自然災害への対応など、新たな社会課題に直面する地域において、今後、必要となる「人材像」はどのようなものか？どのような手法で確保、育成を図るか、各自の経験にも照らしつつ、他の知見も共有、そして本研修の一連の活動を通して、グループで討議し、その成果をまとめ、発表する。

### 15:50-17:00【フィールドワーク・オリエンテーション等】

翌日実施する「フィールドワーク（東京都多摩市）」のスケジュールの確認、関心事項等の整理など、フィールドワークの効果を高めるための事前学習の機会とします。

## ■11月10日(木)

### 9:25-10:35 【実践事例3】

『予算ゼロでまちのFAN=FUNを作った公務員の話』～広報で日本が変わる～

総務省 地域力創造アドバイザー/PRDESIGN JAPAN(株) 代表取締役 佐久間 智之 氏



1976年生まれ。東京都板橋区出身。埼玉県三芳町で公務員を18年務め税務・介護保険・広報担当を歴任。在職中に独学で広報やデザイン・写真・映像などを学び全国広報コンクールで自治体広報日本一に導く。地方公務員アワード2019受賞。2020年に退職し独立。現在は総務省 地域力創造アドバイザーや早稲田大学マニフェスト研究所招聘研究員、自治体広報アドバイザー(2022年は福岡県庁・横浜市・北本市・清瀬市・小山市など)、PR TIMESエバンジェリスト、研修講師として活動。著書に「Officeで簡単! 公務員の一枚デザイン術」「公務員のための広報の教科書」「PowerPointからPR動画まで! 公務員の動画作成術」「やさしくわかる! 公務員のためのSNS活用の教科書」など多数。

### 10:50-11:20【グループトーク2】

前日と同様にグループに分かれて、テーマに沿った討議をしていただきます。

### 11:35-18:15【フィールドワーク(東京都多摩市)】

地域コミュニティの活性化、超高齢社会への対応や若者によるまちづくりの実践など、多摩ニュータウンを抱える東京都多摩市を事例にフィールドワーク形式で理解を深める。

#### ①多摩市役所

市のまちづくり施策、取組事例、今後の展望などについて聴取、意見交換

#### ②多摩市若者会議(※)

若者会議の設立の経緯、これまでの取組み、今後の展望などについて聴取、意見交換

※平成29年度から若い世代・子育て世代が「多摩市に住んでみたい・訪れてみたい」と思うような魅力を創出し、発信していくため、39歳以下を対象とした「多摩市若者会議」を開催。

その後、同会議のアイデアから生まれたまちづくり拠点「未知カフェ」の立ち上げ、令和2年度から中心メンバーが「合同会社MichiLab」を設立し、若者によるまちづくりの企画・実践を継続中。

## ■11月11日(金)

### 9:25-10:35【グループトーク3】

本研修の集大成である「成果発表・振り返り」に向けた最終準備をここで行っていただきます。

### 10:50-12:00【成果発表・振り返り】 12:00-12:10【閉講】

<主催> 総務省、自治大学校

【研修内容に関すること】

地域力創造グループ人材力活性化・連携交流室 甘利、北島

Tel : 03-5253-5392

お問い合わせ先

【申込みに関すること】

(株)セレスポ 全国地域づくり人材塾係 大川、竹ヶ原、羽田野

Tel : 03-6903-6450 E-mail : [jinzaijyuku2022@cerespo.co.jp](mailto:jinzaijyuku2022@cerespo.co.jp)

■申込みフォーム : <https://e-ve.event-form.jp/event/38395/jinzaijyuku>